



Ludwig Chamber Players

ルートヴィヒ・チェンバー・プレイヤーズ
Japan-Germany

日本・ドイツの音の融合 — 次世代を担う日本の若手実力派とドイツのシュトゥットガルト放送響の名手たちが集い、新たな室内楽の扉を開ける。

東京公演

2015年 5月11日(月) 18:30 開場
19:00 開演
紀尾井ホール | 東京都千代田区紀尾井町6番5号
TEL: 03-5276-4500(代表)

料金【全席指定・税込】一般 3,000円 / 学生 1,000円

* 学生券は当日券扱いとなります。当日学生証とともにお求めください。* 未就学児童の入場はご遠慮ください。

【チケットぴあ】 Pコード: 249-464 <http://t.pia.jp/>
電話予約: 0570-02-9999

店頭取り扱い: ぴあ / セブンイレブン / サークルK・サンクス

モーツァルト: オーボエ四重奏曲 へ長調 K.370
プロコフィエフ: 五重奏曲 ト短調 Op.39
シューベルト: 八重奏曲 へ長調 D.803

チケット

- ・四ツ谷駅 (JR線・丸の内線・南北線) 麹町口徒歩6分
- ・麹町駅2番出口 (有楽町線) 徒歩8分
- ・赤坂見附駅D出口 (銀座線・丸の内線) 徒歩8分
- ・永田町駅7番出口 (半蔵門線・有楽町線) 徒歩8分



思わず身を乗り出してしまう“音楽”。溢れんばかりの情感、これぞライブ!の醍醐味を存分にお楽しみください。

2013年、欧州で活躍する日本人若手演奏家とシュトゥットガルト放送響のメンバーを中心に、数々の受賞歴を持つソリストにより結成された。18～19世紀の室内楽を中心に、近・現代音楽にも意欲的に取り組み、2013年 東京・春・音楽祭に出演、続く2014年はラ・フォル・ジュルネをはじめ全国6都市のツアーを展開するなどファンを増やしている。2014年4月にめぐろパーシモンホールで行われた演奏会では100枚用意したCDが完売。今回はオーボエのフィリップ・トンドゥル、東京交響楽団 コンサートマスターの水谷晃が加わり、待望のシューベルトに挑む。



ヴァイオリン:白井 圭 Kei Shirai, Violin

1983年 トリニダード・トバゴ共和国生まれ。3歳でヴァイオリンを始め、東京藝術大学附属高校を経て同大学を卒業。2007年、文化庁新進芸術家海外研修制度の奨学生としてウィーン国立音楽大学で研鑽を積む。日本音楽コンクール第2位及び増沢賞(2001)、ミュンヘン国際音楽コンクール第2位及び聴衆賞(2007)等、国内外での受賞歴多数。ソリストとして、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団定期演奏会をはじめ、日本の主要オーケストラと共演を重ねる。11年9月より半年間、ウィーン国立歌劇場管弦楽団及びウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の契約団員として、著名な指揮者との共演を重ねた。



ヴァイオリン:水谷 晃 Akira Mizutani, Violin

大分市生まれ。3歳よりヴァイオリンを木村二郎氏に師事。南山国際高等学校を経て、桐朋学園大学を首席で卒業。その間、ヴァイオリンを小林健次氏、室内楽を原田幸一郎・毛利伯郎の各氏と東京クワルテットに師事。在学中Verus String Quartetを結成し松尾学術振興財団より助成を受け、イェール大学夏期アカデミー・ノーフォーク室内楽フェスティバルに参加。第57回ミュンヘン国際音楽コンクール弦楽四重奏部門で第三位入賞。2010年4月より国内最年少のコンサートマスターとして群馬交響楽団コンサートマスターに就任。2012年、群馬交響楽団での活躍が評価され、第9回上毛芸術文化賞を受賞。2013年4月より東京交響楽団コンサートマスター。



ヴィオラ:ヤニス・リーバルディス Janis Lielbardis, Viola

ラトビアのアルクスネで生まれる。同国リーガの音楽大学でヴィオラの勉強を始め、その後グラーツ、ハノーファーと場所を移す。リーガでの大学に在学中、ギドン・クレーメルが指揮を務める、“KREMERata Baltica”に首席ヴィオラ奏者として招かれる。以降、ギドン・クレーメルから厚い信頼を寄せられ、室内楽パートナーとして演奏することとなる。室内楽奏者としてオーストリア、スイス、オスロ等数々の音楽祭に定期的に招待され、チェロのイルゼ・グラドゥレ、ファゴットのセルジオ・アッツォーリニなど、有名アーティストとの共演も多い。2004年よりシュトゥットガルト放送交響楽団に在籍。



チェロ:横坂 源 Gen Yokosaka, Cello

桐朋学園女子高等学校(男女共学)、同ソリストディプロマコースを経て、シュトゥットガルト国立音楽大学、フライブルク国立音楽大学で研鑽を積む。2002年 チェリストの登竜門として知られる全日本ビバホール・チェロコンクールでの最年少優勝(15歳)をはじめ、コンクールでの受賞歴多数。2009年 全ドイツ学生音楽コンクールで第1位(室内楽)、2010年 第59回ミュンヘン国際音楽コンクール・チェロ部門で第2位を受賞。これまでに日本の主要オーケストラ、バイエルン放送交響楽団、ミュンヘン室内管弦楽団などのオーケストラと、また小澤征爾やクリストフ・ボッペン等名だたる指揮者と共演。室内楽でも各地の音楽祭に出演している。



コントラバス:幣 隆太郎 Ryutaro Hei, Contrabass

1999年 東京藝術大学入学。2001年 ドイツ・ヴェルツブルク音楽大学入学。DAAD外国人のための学内コンクールで1位となり、奨学金を授与される。05年 同大学ディプロマ試験を最高得点で卒業、同大学院マスターコースに入学。同年ベルリン国立歌劇場オーケストラ(シュターツカペレ・ベルリン)のアカデミー試験に合格、首席指揮者ダニエル・バレンボイム指揮のもと、オーケストラの一員として研鑽を積む。07年シュトゥットガルト放送交響楽団に入団。10年よりサイトウ・キネン・オーケストラのメンバーとして公演に参加。ソロリイタルの他室内楽でも活発な演奏活動を行っている。



オーボエ:フィリップ・トンドゥル Philippe Tondre, Oboe

フランス・ミュルーズ生まれ。6歳でオーボエを始める。数々の国際音楽コンクールでの受賞歴を誇り、第9回国際オーボエコンクール・軽井沢第2位。10年 第65回ジュネーブ国際音楽コンクール第3位。11年9月には第60回ミュンヘン国際音楽コンクールで優勝し、聴衆賞、特別賞も受賞した。08年には18歳でシュトゥットガルト放送響首席オーボエ奏者に就任。ソリスト、室内楽奏者として、バイエルン放送交響楽団、ヨーロッパ室内管弦楽団、水戸室内管弦楽団、サイトウ・キネン・オーケストラなどに参加。また、小澤征爾、コリン・デイヴィス、ネーメ・ヤルヴィ、ヘルベルト・ブロムシュテット、エサ=ベッカ・サラネンといった名指揮者との共演も多い。



クラリネット:ディルク・アルトマン Dirk Altmann, Clarinet

1965年 ドイツ・ハノーファー生まれ。7歳でクラリネットを始め、ハノーファー音楽大学にて学ぶ。81年ドイツ青少年音楽コンクール「jugend musiziert」にて第1位を受賞。83年より、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の研修生(カラヤン・アカデミー)になり、2年間オーケストラの一員として、研鑽を積む。85年より、シュトゥットガルト放送交響楽団首席クラリネット奏者。ソリストとして、多くの有名オーケストラとの共演、自身の手掛ける室内楽グループとのCD録音をする等、ドイツの一流オーケストラの奏者として重要な役割を果たしている。



ファゴット:ハンノ・ドネヴェーグ Hanno Dönnweg, Bassoon

1977年生まれ。97年 シュトゥットガルト音楽大学に入学。98年よりベルリン・ハンスアイスラー音楽大学で巨匠クラウス・トゥーネマンに師事。2001年より、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の研修生としてオーケストラの経験を積む。02年より、シュトゥットガルト放送交響楽団のソロ奏者を務める。ドイツ、アメリカ、日本をはじめ多くの国でマスタークラスを開き、後進の指導にも精力的に活動している。これまでに、ハインツ・ホリガー(オーボエ)やラドヴァン・ヴラトコヴィチ(ホルン)、ザビーネ・マイヤー(クラリネット)、レオニダス・カヴァコス(ヴァイオリン)といった、そうそうたるメンバーとアンサンブルを組んでいる。



ホルン:ヴォルフガング・ヴィプフラー Wolfgang Wipfler, Horn

1965年 ドイツ・バーデン=バーデン生まれ。ケルン音楽大学にて、エーリッヒ・ペンツェルのもとで奏法を習う。1986年より、ドルトムントの歌劇場で首席奏者となり、1988年にはシュトゥットガルト州立歌劇場に移籍。2004年よりシュトゥットガルト放送交響楽団の首席奏者となる。2010年よりパイロイト祝祭管弦楽団の首席奏者を務める。現在、シュトゥットガルト音楽大学講師。

兵庫公演情報

2015年 **5月1日(金)** 18:30 開場
19:00 開演

神戸新聞 松方ホール

神戸市中央区東川崎町1-5-7
神戸情報文化ビル4階